

# 活動報告

---

宮古災害復興支援活動チーム M.A.D

代表 千葉 智広

# M.A.D

---

## M.A.D結成

2011年3月11日。

私たちの街、宮古市を襲った未曾有の津波災害。

私たちから多くの大切なものを奪いました。

しかし、たくさんの涙を流しながらも、私たちは宮古の地面に足を踏ん張り続けて来ました。

「自分たちの街は、自分たちの手で復興させてやる」

それぞれが同じ想いで、3月末から「宮古市災害ボランティアセンター」にボランティア登録し、今に至るまでほぼ毎日、数々の復興支援活動を行って来ました。

しかし、震災から5か月目に当たる8月11日、「宮古市災害ボランティアセンター」は「災害」の看板を下ろすことが決定しました。

ここでの活動により、強い信頼感で結ばれた私たちは、このまま解散して良いのだろうか。

被災した宮古市民は、本当にもう助けが要らない状態になっているのだろうか。

# M.A.D結成

残念ながら、被災した地区のがれきの撤去が進んだ今なお、本来の宮古市の活気は取り戻せているとは言えません。掘り出せば、まだまだ助けを必要としている人が多く存在します。

宮古市民である我々が地元のニーズを細かく聞き取り、素早く活動に移すことで丁寧に支援していきたい。

行政からの支援活動から漏れてしまう、苦しんでいる人々を助けたい。

そして、若年層を中心とした新しいコミュニティを作り、宮古市を根底から元気にしていく仕組みを作りたい。

誰かからの支援を待つのではなく、自分たちの力で宮古市を引っ張っていきたい。

そんな強い想いで、私たちはこの「宮古災害復興支援活動チームM.A.D」を発足しました。

私たちが宮古市の発展のために活動すること

宮古市民が宮古市の発展のために行動するように促すこと

僕たちが、やっていきます。

Miyako Action Development

# 活動内容

- 宮古市生活復興支援センターを運営（宮古市社協と協働）
  - ボランティアコーディネート
- 若者・子ども支援
  - 子どもの遊び場を提供
- 被災残存世帯支援
  - 全戸訪問によるニーズ調査と傾聴
  - コミュニティ再生支援
- イベント企画・開催

Miyako Action Development

## イベント企画・開催



- PiKAPiKA Miyako Project
  - 「街灯の灯りがなく、気持ちが悪く落ち込む…」といった住民の声
  - 光のアートと一緒に作る中、コミュニケーションで心に暖かな光を
  - 様々な想いとつながりを紡いだアニメーションを3月11日に上映予定
- 年越しカウントダウン「暖々に」
  - 色々あった2011年、年越しを寂しく過ごすのは辛い...
  - 「みんなで一緒にゆっくりと暖かく新たな年を迎えよう」
  - 200人を超える来場者
- ボランティア写真展「明日への足跡」
  - 復興に向けて歩き続けている姿を紹介

Miyako Action Development

## これから

- 宮古市近郊で多くの団体が活躍
  - 情報・ビジョンを共有し、適材適所で連携していく
- ボランティアの数が激減
  - 意識・関心を保ち続けるための広報活動
- 外部からの支援の格差
  - 残存世帯、みなし仮設への聞き取り調査の徹底

Miyako Action Development